

成人市中肺炎の重症度別患者数等

集計方法と定義

・成人(20歳以上)の肺炎患者について重症度別に患者数、平均在院日数、平均年齢を集計。

・入院契機病名および最も医療資源を投入した傷病名が肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(DPC:040080相当)でかつICD10コードJ13~J18で始まるもの。

・病院外で発症した市中肺炎に限る。

・肺炎の重症度分類(A-DROPスコア)

- ① 男性 \geq 70歳、女性 \geq 75歳
- ② BUN \geq 21mg/dl以上または脱水あり
- ③ SpO₂ \leq 90%
- ④ 意識障害あり
- ⑤ 収縮期血圧 90mmHg以下

*重症度の横の数字は A-DROP スコアの該当項目数。

	患者数	平均在院日数	平均年齢
重症度 0	20	8.85	46.75
重症度 1	44	15.84	74.75
重症度 2	48	19.60	77.00
重症度 3	27	18.56	82.44
重症度 4	-	-	-
重症度 5	-	-	-
不明	-	-	-

解説

・患者数 10 未満の症例は-となっております。

・軽症(重症度 0)の場合は外来での治療が基本となりますが、患者さんの状態によって入院加療となる場合があります。

・中等症(重症度 1、2)では 92 件 該当患者数の 63%となっております。重症度が増すごとに平均在院日数、平均年齢が高くなる傾向を示しております。